本町

事り

業としてルー

ル

化す

一がりを捉って、住民

え、 意

か れ

な地域でもあった。 目印は「志木小学校」

が囲

んで 0

識

た、

が鳴くの

そ

公 の 共 盛

かうまで、 て、 宅エリ 5₆

かつて、志木市に生ま

音が、いまよりずっと昼を告げるサイレンの

まちづ

い三階建ての建物だ。

み易さとを調和させた、

家として成功し

期待されている。

る

モデルとなることが

で、

そのころ、

町で一番

であり、 宅か

らの外出には至

静かな環境と住の外出には至便の外出には至便のまわりを大通

とが一つになって、新しい志木市のまちづくりの方針 い、という住民の意向と、 として良き環境を保ちた 向 た永倉萬治の処女作「武

三丁目地区の を導入して、 計画がスター 志木市は、 地区計 整備を完了し すでに上宗岡 画制度

蔵野S町物語」 に記さ

田舎の匂 いが刺激したいと土くさい

の

一種中高層住居専用地域)、B地区(第二種住居地域)、C地区(第二種住居地域)の三つに区のでいてのででである。 区 で 18 m までと のあたりと推定されてい都千代田区、現在の皇居は、入間川を下り、東京をの一族であった江戸氏

る台地に「江戸館」を築

いたと伝えられてい

る。

の豪族として活動したが、

世のころ、武蔵国きって明を築いた河越氏は、中埼玉県川越市の台地に

職図として描いた。 ・ 残念乍ら江戸館の遺構 が調査ののち、中世の河 が調査ののち、中世の河 財調査ののち、中世の河 対調査ののち、中世の河 がいるが、一方の

永倉萬治

昭和30年代、少年の住む町の

空は青く、広かった。

SHIMIN PRESS

第53号 7月5日

特定非営利活動法人 発行人 「市民フォーラム」

原 昭二 編集人 制作・印刷 デジタル工房 048 (476) 9111 FAX 〒 353-0004 埼玉県志木市本町 5-19-15

市民の目線で市民が発信する地域情報紙

WEB SHIMIN http://shimin.camelianet.com

CONTENTS

-PAGE 1 志木市本町六丁目の 整備計画まとまる

河越館の歴史を繙く (2ページへ)

-PAGE 3 志木町町立志木小学校の 草創期

-PAGE 4 中宗岡の歴史を訪ねて

「スマートフォン」は もっともっと高性能になる

五十九年、

0 史跡

まれ、掘立柱建

約 4 m、

深さ約

館を推測したも この図

は、

模の区画には、土塁・空堀二町(218m)四方の規の入間川右岸に位置する約川越市の北西に当る上戸 などの遺構が現存しており、は模の区画には、土塁・空堀に町(218m)四方の規の入間川右岸に位置する約の入間川右岸に位置する約の

> 館跡 周

辺

0

景観

二十一年十一月に指定された。 園として公開され、 一月には史跡公た。さらに平成

加しつつある。 訪 れ る 口として土橋⑥があったと考(④があった区画、これを囲む、霊廟と推測される石葺きの塚

⑦主屋と想定される区画 史跡公園として整備された範囲 (第1期整備)

上戸 日枝神社

南

(新日吉山王宮)



⑪入間川

存)②の付近には、鎌倉街に見える新日吉山王宮(現果たす入間川⑪が流れ、西東には水運で重要な役割を東には水運で重要な役割を東には水運で重要な役割を が 鎌倉街、西 次頁

て存続している。
をおら発展した常楽寺⑩が堂から発展した常楽寺⑩がして南側には河越氏の持仏 は堀で囲まれた区画⑨、そこの西側には、塀で囲まれた区画®、北側にた宗教的な区画®、北側にの西側には、塀で囲まれの場所⑦にあったと推測さ 遺構が集中する入間川館の中心となる主居 心となる主屋は すると、 寄り を





常楽寺 境内 夕暮れ迫る 史跡公園

フと

物館な出土

か側端

、前頁から→
水陸交通の交わる要衝に立い水陸交通の交わる要衝に立いなど役割の異なる複数の区ではなど役割の異なる複数の区ではなど役割の異なる複数の区ではなど役割の異なる複数の区ではなる都市的な場だった。
このような歴史的・地理によって構成され、周囲によって構成され、周囲によって構成され、周囲によって構成され、周囲によってがであるう。武士たいちにこから各地に向かってもはここから各地に向かってもはここから各地に向かってもはここから各地に向かってもはに、京にものぼっていて出陣し、京にものぼっていて出陣し、京にものぼっていて出陣し、京にものぼっていて出陣し、京にものが表が、河越氏の初代かいると、大が歴史の表舞台から姿をから、中がとして利用されたがある。 つて の用

の歴史を繙

全をあをさ所代群れ世体を され、そこに納める税(稲)所が設置されていたと推定代には、武藏国入間郡の役群が所在する。 また奈良時群が所在する。 また奈良時群が所在する。 また奈良時間の過少 地区には古墳世にかけての遺跡が知ら世にかけての遺跡が知ら あか的 っつ場 た。とお要衝にた。

たて とは墳 い三群 わ れ基 るも がの 現墳

かれたとされ、全長がれたとされ、全長が、発掘調査の結果、か、発掘調査の結果、か、発掘調査のに変形したが、発掘調査のに変形したとされ、全長が、発掘調査の結果、が、発掘調査の結果、が、発掘調査の対象をは、

沿 約 ケ十らとた牛牛 東武東上いわれる る。

霞ヶ関遺跡 に歩きがあると と小畔川に挟まれた を小畔川に挟まれた を掘調査によって、 発掘調査によって、 現立柱建物跡と、区 を変しまで、 で造られた「電ヶ関遺 考えられる溝と、区画目的って、大型のの関遺跡」は、まれた地で発まれた地で発

が、柱跡等が確認され、 理物群の構と大型建物の柱穴から「入厨」 の文字が書かれた、 平安時代初期の墨書土器や 大型の堀立柱建物の が示唆された。 主要な情報伝達のた がが示唆された。 主要な情報伝達物の がが示唆された。 ががががいる。 主要な情報伝達物の がががいる。 がががいる。 をいたので、この ががいる。 ががいる。 ががいる。 をいたので、この ががいる。 ががいる。 ががいる。 ががいる。 でで、この ががいる。 ががいる。 でいたので、この ががいる。 ががいる。 ががいる。 でいたとさ に縦貫していたとさ でいたので、この がいる。 でいたので、この がいる。 でいたとさ でいたとさ

に展示された。金銅 高は、金銅指 あ 石称は、死れたりに多数関東京・池の東京・池の東京・池の東京・池ので北西に始いている。 れ 型 ている 川軸など 大軸など 大部など

る市どがナ

考郡倉水に

昔、久次郎 では、 によれば、 にして三葉 にして三葉

、たように、古いて、たように、古いで、その後、 、たように、古いで、その後はいえ、あいで、その後にはいえ、あいで、その後はいえ、あいて、この地に挟ました。

河越荘がつくられたの河越荘がつくられたので、旅の途次に河越を訪れ、この書いう記述があるが、この書いう記述があるが、この書いう記述があるが、この書いう記述があるが、この書いう記述があるが、この書いう記述があるが、この書いたの途次に河越を訪れ、で、旅の途次に河越を訪れ、つかがで、旅の途次に河越を訪れ、 明

また後に徳田 地を調査して文 (1828) に完成。 武蔵風土記稿』 説の項には、「田 跡は、日吉山王 るか、常楽寺のい になるだろう」 になるだろう」 十府一が

線いの約袋れ埋ん 立の多イ え内に運向こい交 ら各納を かっか、の れ所め利っか、の 部別 部家の川 郡家の川 た 0 た稲の川地区 は る。なな

「鯨井」の由来・・・ 「鯨井」の由来・・・ では、「鯨井村は郡(高 にて三芳郷に属せり。往 して三芳郷に属せり。往 して三芳郷に属せり。往 して三芳郷に属せり。往 し、久次郎なるもの草創し に、久次郎居村の頃から で、今の文字に書きかえし に、の文字に書きかえし と、の文字に書きかえし に、の次郎居村の頃から は、、一次のは久志羅井、と と、のででは、のでいばのでがある。(「鯨井」の由来・・・

はい寺た十は 史」

H

上のてりあ塁総編年現

はたで寺杉続 だ氏・小田原 が、重隆の頃、 が、重隆の頃、 が、重隆の頃、 が、重隆の頃、 が、重隆の頃、 が、戦日 たのかについ い た 戦 原 は明らかで 性由は何だっ は明らかで は明らかで

に館を構えた、河越姓を名を置いた秩父武綱―重

長勝院を仮校舎

小学校と改称

仮校舎に

着任 して(当時は師範出の教員は稀 た 非常に尊敬さ の有能校

発布され、「志木町」

のであ

る。れ、

立憲

着任早々新校舎の計画を立着任早々新校舎の構想など敏腕、新築校舎の構想など敏腕氏の畑(現在の敷地の一部) 一二七二坪が決定した。一二七二坪が決定した。

起

- 四年七月新た-- 五年三月廿二-- 五年三月廿二-- 五年三月廿二 竣工

この近 急時児 時

勝院に高等る **勝院に高等科を分置し急 墨数の増加に伴い、一時 この間高等科の併置、**

校 数二一五坪-屋木造瓦井 の建築 は順 葺 葺、凹字

町志 立木 志町 東洋大学工学部 (新日吉山王宮) 1.4 小 □ 総合保健セン 東武東上線。 ●牛塚古墳 R川越線 道 六は 半年 年 で、か 女子 ら 年 は特長 に短方

木 学 校 0) 草

称す。 開 校

も子屋では

そろばんが、 ならが、 の名 族階級の こいった漢字が授けて、進度に随って、一 (達の手に自 内容 れの 算法 地

多かった。 生 、七才かり つ 年 か

謝 で 自家製の餅とか はた。米穀を 歳暮に 野菜、 はと

を持参するもの気風が偲ばな 或は、. 目家製の餅とかうどんな目家製の餅とかうどんなするものもあったが小額が偲ばれる。勿論、お金が偲ばれる。勿論、お金がのばと、当時ですんだものだと、当時であり、五銭とか十銭

二、宝玉ム見りた塚が宝幢寺境内である。 主として、「塩材に生」 までいまでい 卅六

明年 治 生

宝幢 出観が -に死亡し

明治七年 明治七年以前 寺子屋時代

志木小学校と改称明治十七年 学区の名 明治十五 浴廿三年教育に関する勅語拝 義務年限四ヶ年となる。 小学校令改正 小学校令時代 あった。

高等小学校と改称 長勝院を明治卅五年高等科併置志木尋常 となす。

明治卅六年 仮分教 \Box

明治四十 以下、志木小六年となる。 義 務教 『開校』 年 限 は

そのあけぼのを探って年記念誌』(昭和四十九年以下、志木小学校の

よう。から、 百

末期の

た立派な碑が残された。宝幢寺には、筆 月志木学校開設後 創 期 しれ志 たよう 学制が発布が

、女子はほとんど稀で 、女子はほとんど稀で 、女子はほとんど稀で 、女子はほとんど稀で 校 官 明 治 五 年 明 治 五 年 年 四 /明治七 八月 学制発布 年

明治十四年の勅論

0 身を修め智を を遂ぐ め、 その 0 以にはおまれている。

大官農商百工技芸及び法律政治 天文医療に至るまで、凡そ人の 営む所の事、学に非らざるば無 し。人よく其の才のある所に応 じ勉励して之に従事し、然して じ勉励して之に従事し、然して じ勉励して之に従事し、然して でものにして、人たるもの誰 が学ばずして可ならんや。夫の ゴずるな 畢境不 事のは

をし よいらざる からざる

志木学 (他すこと能わざるもの少似たりと雖も、之を身に行 の徒におちいり、其の同章記誦の未に走り、 人方向を誤り、学問はの事とし、農工商及び 配の何たるかを弁ぜず、 以上の稀に学ぶもの、で ば国家の為にすと唱へ、 でるの基たるを知らずと 貧乏破産喪家の徒多 普からず、才芸の受ぎで、 是即ち沿襲の習弊に し で度外に置き、当二商及び婦女子」 云の長ぜずして、 、其の論高尚に 之を身に行い事 之るもの少から でるもの少から して或は、動もすれ

改正、 学制を定め 其の旨を誤るべ 与、 (な多きゆえんな 人たるものは、学で 人たるものは、学で 般 追々教則を一般文部省に 人民 (華士 からず。

人な。 の情 か

に まるののでは、男女の別なく小学に従事せしめざるのもなく小学に従事せしめざるのもなく小学に従事とし、国家の為に士人以上の事とし、国家の為に士人以上の事とし、国家の為に大人以上の事とし、国家の為にな頼し、之を給するに非ざれば依頼し、之を給するに非ざれば依頼し、之を給するに非ざればな頼し、之を給するに非ざればな頼し、之を給するに非ざればながでる事と思い一生を自棄するもの少なからず。是皆惑へるるもの少なからず。是皆惑へるの甚だしきものなり。自今以後、 によって、学りなく小学に従事せしめざるのもいは、其の父兄の越度たるべき、、但し従来沿襲の弊、学問は人以上の事とし、国家の為にと唱うるを以て、学りな食の用にといる。

き事従 事せ む

ベ

き

心得う

(混乱期で、財政の父) であったが、

かで

つも

立れ人学に上 対が一般国民に徹の一途を動かし、就の一途を動かし、就の一途を辿った。... この趣旨 で、大 はの では、 漸次当恵がは、 漸次当恵がは年々増加がは年々増加がは、 事次当恵がは、 事次当恵がは、 事次当恵がは、 事次当恵がは、 事次当恵がは、 事次当恵が、 し国家の方が、 し国家の方が、 し国家の方が、 し国家の方が、 し国家の方が、 している。

0

社の社務

が抜けた。町当局のかを仮校舎とし

職校五五五 第 治 番 中川喜 | 第四番中学| 二郎氏 木 小学

区となり、一五年学区の 高等 0 充

が 基礎も至って発 基礎も至って発 る。と以て全年 明 政治の基礎も財政志木宿の誕生を 七 引又

石三十六年一月新校以て仮校舎に充てた 当時高等科は、木 月新校舎落成せる 一日全部之に 、本町手,

実三 小沼郎 年

治 三 モ 職 **熟地** 卢 一年十一月 一年十一月 一年十一月 一年十一月まで |坪(四一八九]

政

m

して紹介されていた。 近の様子が1 近の様子が1

つ 河越荘の総鎮守 河越荘の総鎮守 で 大地方豪族たちは、都へのた地方豪族たちは、都へのた地方豪族たちは、都へのた地方豪族たちは、都へのた地方豪族とちは、河越荘園の総鎮守としは河越荘園の総鎮守としなって、日枝神社を京都より分て、日枝神社を京都より分で、日枝神社を京都より分で、日枝神社を京都より分で、日枝神社を京都より分とされている。 ては安寺憧た

越氏

を

始

め

つ づく

新築校舎認可 新築校舎 起工 起工 二十二日

高等科併設 高等科併設 に充つ

った布告のから、

を、戸長と称す (高野武兵工氏) は極度に窮乏しは極度に窮乏し 政府は太政のり、国の財政と各自治体で賄うの通り、従っての通り、従って

1 三年、一と改 の校長で、埼玉師範を続けたて不自由な教育活動を続けた 長とし 小沼佐吉

に、

世字 とより学校当局並に児童のよろとより学校当局並に児童のよろこびは大きかった。明治三十六年一月に新築校舎落成、二月十一日に全部(宝幢寺、長勝院)ここに移動した。

内する安藤茂延さん

歴史を訪ねて中宗岡の

郷土資料館→一里塚跡 実蔵院→泣き虫稲荷→ 場→せせらぎの小径→ →北美圦樋→宗岡浄水スタートして、天神社 され、志木市役所前を の主催で、「宗岡・水 産財氷川神社のコース と暮らす知恵」が開催 木のまち案内人の会」 で、案内人の会(会長、 ノ倉達也) のベテラ 野火止用水→水塚→ 去る五月十五日、「志

説明するのは細田和子さん 「泣き虫稲荷」のいわれを



を傾けてみよう。 財氷川神社 (中ノ氷川神社) 歴史を説明する深瀬克さん 志木市指定文化財 (平成八年) 文化財なので、その説明に耳 手を背景として佇んでいる。 (中宗岡2-29) は、荒川土 一産財氷川神社」の縁起や コースの最後になった産 中宗岡に所在する白眉の

産財」の由来

志木市の浄水場を案内す

るのは若尾勉さん

実蔵院の縁起を語って案 らしく、「三在」が「産財 る耕地を指す意味がある 離れた辺鄙な周辺部にあ 神社と呼ばれている。 中ノ氷川神社は産財氷川 字名があって、「三在」に 在」・「下三在 (産財)」の 財甲」・「産財乙」・「中三 治時代の宗岡の地図に「産 に転化したのではないか 「産財」地区にあるので 自分が住む地区から 明

は、中心部からはなれた周 辺部を指す意味もある。 永享年間(1429~

壇部には「明治十二年十 たといわれ、本殿石積み基 に着工、同十四年に完成し れは、明治二年 (1869) たま市)から分祀したと伝 に覆われた本殿がある。こ 建之当村石工大嶋信正 ノ宮氷川神社(現・さい 441) のころ、 武蔵国 拝殿の奥に、覆屋

本殿は一間社流造りで、奇稲田姫命、大己貴命。で祭神は須佐之男尊、ご祭神は須佐之男尊、 建築資材はケヤキ。本殿の 向拝の階段の下にある床、 禅宗建築の手法がみられ、 縁を支える「腰組」には

なっている。さらに、登り 定文化財」となった。 にも優れた貴重な建造物 多くの彫刻があり、意匠的 龍・下り龍、 で、平成八年に「志木市指 コノハナサクヤヒメなど 「浜縁」は賑やかな構成に 鯉の滝登り、

の渡御が盛大に行われる。 いと無病息災を願い、神輿 復され、夏祭りでは悪魔払 拝殿の前面縁側部分が修 最近、氏子たちによって、

村の一山講によって築造さ二十五年(1892)宗岡隣接する御嶽山は、明治 嶽山大神」・「八海山大神」・ 「三笠山大神」の三神を祀っ てあり、中腹には、 れた。高さ4m、頂上に「御 産財氷川 神社の右側に 木曽御 遺言したことによってま すます信望を集めた知足 行法を継ぐ者は汝なり』と

師一山が臨終の際『我が



が林立している。 嶽山を模した霊場・神社・ 記念碑・寄進者連名碑など

与野の御嶽大神を勧請して、 数万の信者を集めたという。 嘉永五年 (1852) 没。 木曽御嶽山で積み、江戸と 山は、与野の人で、荒行を 一山講を起こした井原一

教えを受け、天保十三年 岡村に生まれた小日向鐐之 助は病弱だったが、一山の 者としての修行も深め 士登山に成功し、その後も (1842) 季節はずれの富 文政元年 (1818) 宗



多くの彫刻が残されている 産財氷川神社本殿

スマートフォン」 はもっと 高性能に!

ューション)のサービスをす 対応した「スマートフォン」 でに開始しているが、これに (多機能携帯電話)を今年中 LTE(ロング・ターム・エボリ に発売することを発表した。 通信大手のNTT

3.9 世代携帯電話 (3.9G) と呼び、また国際的には、 提唱したものであるが、同社 Generation) と呼称するこ として、国際電気通信連合 送に成功して「Super 3G」 は 5Gbps のパケット信号伝 で、そのコンセプトを最初に モが Super 3G という名称 大容量・低遅延を特徴とする。 とを認可されたLTEは、高速・ によって第四世代 4G(4th 新たな携帯電話の通信規格 この規格は、NTTドコ

> 準化され、世界中の通信事業呼ばれていた。いまや国際標 となったのである。 者によって導入される見込み

を表現しているという。 NTT のサービスブランドは

技術の寿命を延ばそうという 無線 LAN で携帯電話ブロー 状況にある。そのため LTE の バンドを補完しつつ、3G ただし、現在の通信業界は、

(写真・右)を建立した。

は、十三回忌に当たる明治 死を惜しんだ一山講の人々 (1882) 6歳で没。その を知られた。明治十五年

一十八年、「知足行者の碑

は の対応も流動的である。 でに開始するのは、

る携帯端末に、「SIM ロック」 NTTドコモは、今後出荷す SIM ロック解除の動き

針を明らかにした。 を解除できる機能を盛り込む方

「イン」(クロッシィ)で、「イ」 まな人、物、 「こ」は「イノベーション」や ョンを引き起こしていくこと 「私」を意味しており、さまざ や「無限の可能性」を意味し は「人、物、情報のつながり」 つながり、新たなイノベーシ

情報が有機的に 歩前進とい

フトバンクの LTE サービスへ の大手通信業者の KDD、ソ 予想する向きもある。わが国 30社未満にとどまりそうだと 商業的なサービスを今年末ま 六ヶ国、

賢い選択を求めている。

のなので、 話会社が発

その二年後にはタブレットの i-Pad へと展開された。携帯 ーソナル・コンピュータは、 電話は多機能となる一方、パ 始まったス アップル社の i-Phone から 身しながら、 タブレット 互に接近しつつ、ユーザーに トは相互に歩み寄る 2007 年 1 月に発表された スマートフォンとタブレッ マートフォンは、 電子書籍へと変 性能と機能は相

街頭無線

には携帯電話機の無料という どの契約者情報を記録したも 無くなった訳ではないが、一 本独自の制度であったため、 が、世界標準とかけ離れた日 メリットがもたらされていた には「囲い込み」、ユーザー ことによって、携帯電話会社 カードに携帯電話会社がロ 問題となっていた。問題点が る。SIMカードは、携帯電 ックをかける状態のことであ SIM カードと呼ばれる IC うべきか。 これをロックする 行し、電話番号な

> 無線 LAN で通信ができた例 電話がつながり難くなったが、

があり、携帯電話の回線網だ

ビスを拡大する計画のようだ。

東日本の大震災では、携帯

でも無線 LAN が使えるサー ンの普及に対応して、外出先

通信各社は、

スマートフォ

クラウド・コンピューティ

は歓迎されるに違いない。

データ通信する利用者も増大 が下がりやすかった。携帯で けでは、混み合って通信速度

しているので、このサービス

と彼は告白している。 考えていたが、それは崩れた、 すべての生活の中心になると 表した。十年前には、PCが ビスを今秋から開始すると発 などを一括して管理するサー タ、電子書籍、写真のデータ ーブ・ジョブズは、音楽デー すでに多くの IT 企業が参 アップルの CEO のスティ

どを欠いた、端末デバイスへ うになる。 と向かうことになろう。 PC は、 ハードディスクな

アプリケーションをネット上 入しているが、今後データと

におき、みんなが共有するよ

大計画も LAN の大幅な拡

手線は廻る」環状鉄路の誕生のようリエイティブ・ブック第11 号 新書判

遷を偲びつつ、気ままに読み下せるように編集された物語り。 動脈となる。本書は山手線各駅近傍の地誌を語り た。半世紀を経て完成した環状の「山手線」は、 240ページ 定価1260円(税込) 新橋から品川・横浜へ、日本の鉄道建設は明治 編集は「NPOト 、歴史的な変 **| 五年に始まっ** 甲民フォーラム」 首都東京の大

発売:揺籃社 電話: 042-620-2616 発行: (株)ヒューマン・クリエイティブ

ネットでも購入できます。

特定非営利活動法人 NPO「市民フォーラム」

また市民間のコミュニケーションて市民の公共参加を推進します。して取材活動を行ない、報道によっこの法人は地域住民と行政に対 の増進に努めます。

TEL 090 (3048) 5502

編集部 原宛にどうぞ